

基礎病理学講座

講座・部門紹介

URL <http://www.fmu.ac.jp/home/p2/>

当講座では、病気の原因や病態を明らかにするために、教室員が目指すべき将来像と挑戦し続ける気持ちを持って研究に取り組んでいます。また、細胞生物学や分子生物学・生化学のさまざまな手法を取り入れるなど、テーマごとに最も適切な材料と方法を選択・構築して、研究を進めています。

本講座は、基礎と臨床の垣根を越えて自由に行き来できる自由な雰囲気の教室であり、研究の重要性・面白さを体感できる場を提供します。研究・教育・病理診断を担う当講座教員は、それぞれ独立した研究者ですが、講座内はもちろん学内外の研究室とも連携して研究を推進しています。

staff スタッフ紹介



教授 千葉 英樹

北海道立室蘭栄高等学校卒業
昭和63年 札幌医科大学卒業
教育専門分野
1) 病理学
研究分野
1) 実験病理学
2) 細胞生物学
3) 腫瘍学

研修医、臨床医入学時の研究分野

研修医、臨床医は、大学院生または大学院研究生として、原則として講座の研究テーマに沿った形で研究に携わります。研修医や臨床医は、各教員に指導を受けて日々研究に励み、その結果を講座の研究会議で定期的に発表します。また、研究対象としての病気の理解を深めるため、生検・手術材料の病理診断、病理解剖を学ぶこともできます。

講座・部門の主な研究内容

当講座では、「核内受容体」と「細胞間を繋ぐ接着分子」の機能を臓器・疾患横断的に研究しています。主要な研究テーマは以下のものです。

1. 細胞接着-核内受容体シグナル伝達経路による多彩な生命現象制御
2. がんの悪性形質を左右する新たな核内受容体活性制御機構
3. 細胞間接着分子に着目した新規がん診断マーカーの開発
4. 新規幹細胞ニッチシグナルを利用した組織再生戦略
5. 幹細胞の上皮分化を制御する普遍的エンハンサーの同定
6. カエル原腸胚表皮細胞を用いた生体バリアの高感度タイプイメージング
7. 腎系球体疾患の新規診断マーカーと治療標的の探索
8. 細胞間接着シグナルによる腸上皮幹細胞の運命決定機構
9. 神経血管ユニットによる新たな血液脳関門制御機構と脳疾患
10. タイト結合分子の機能的選択性と可塑性

講座・部門からのメッセージ

基礎病理学講座は、研究を希望する全ての方に広く門戸を開放しています。医学部学生や大学院生はもちろん、研修医、臨床医、博士研究員も受け入れています。病理学、細胞生物学、腫瘍学などに興味のある方は、大歓迎ですので是非気軽にいで下さい。研究に楽しさ・生きがいを見だし、新しい発想・発見に触れる喜びを共有しましょう。